



学校だより

7月

「わかる つながる 高め合う」のびていこう はやぶちっ子

各学級での話合いの結果は……

校長 鈴木 智彦

中庭では、ハクセキレイがチョロチョロと歩いています。尾を上下に「ふりふり」と振りながらリズムカルに動く様子に、思わず笑みがこぼれます。

さて、6月上旬には梅雨入りが発表されました。梅雨が明けると、厳しい暑さの中で WBGT（暑さ指数）が高くなり、外遊びが制限される日も多くなることが予想されます。これからの時期は、子どもたちにとって室内で過ごす時間が増えていきます。

そこで学校では、子どもたちの「うち遊びの充実」について、代表委員会で考えていくことにしました。教具室には、生活科で使用する「けん玉」や「コマ」があります。近隣の園では、こうした遊具が日常的に使える環境づくりが行われているとも聞いています。そこで本校でも、1年生ホールに「けん玉」や「コマ」を常時置くことを考え、原案説明会で4年生以上の学級代表に提案理由を伝えました。

1年生ホールに、「けん玉」や「コマ」を日常的に置くようにしたいと考えています。ただ、使い方によっては、けがやトラブルのもとになることも考えられます。

そこで、こうした環境になったときに、自分たちは安全に使って、うち遊びをすることができるのか、それとも難しいのか、学級で話し合ってほしいです。

そして、代表委員会でみんなの考えを聞かせてください。



けん玉オオカミくん

すでに多くの子どもたちは「けん玉」や「コマ」の遊び方を知っています。だからこそ、単にルールを決めるだけでなく、周囲に気を配ったり、危険に気付いた時に声をかけ合ったりと「よりよい関わり方」を自分たちで考える機会にしたいと考えました。

各学級での話合いをもとに、代表委員会で検討した結果「交流が広がる」というメリットと「けがやトラブルが心配」というデメリットの両面が出されました。その中で各代表の子どもたちが考えた答えは「お試し期間を設け、まずはやってみる」というものでした。

7月の朝会で全体に伝え、実際に取り組んでみる予定です。子どもたちが安全に、そして互いを思いやりながら楽しく過ごせるよう、引き続き見守っていきます。

ご家庭でも、ぜひ話題にしていいただければ幸いです。